

第1回 全員協議会記録

1 日 時 令和2年2月10日(月) 午前9時00分 開会

2 場 所 議会委員会室

3 出席議員 18名

議 長	関 根 正 明	議 員	宮 澤 一 照
副 議 長	堀 川 義 徳	”	天 野 京 子
議 員	渡 部 道 宏	”	阿 部 幸 夫
”	宮 崎 淳 一	”	横 尾 祐 子
”	八 木 清 美	”	高 田 保 則
”	丸 山 政 男	”	小 嶋 正 彰
”	村 越 洋 一	”	太 田 紀 己 代
”	霜 鳥 榮 之	”	植 木 茂
”	佐 藤 栄 一	”	岩 崎 芳 昭

4 欠席議員 0名

5 欠 員 0名

6 説 明 員 3名

総 務 課 長	平 出 武	観 光 商 工 課 長	城 戸 陽 二
建 設 課 長	杉 本 和 弘		

7 事務局員 3名

局 長	築 田 和 志	主 査	齊 木 直 樹
庶 務 係 長	堀 川 誠		

8 件 名

1 事件

- 1) 議会運営委員会協議結果報告について（令和2年第1回妙高市議会臨時会の運営について）
- 2) 広報広聴委員会協議結果報告
- 3) 少雪に伴う市内の主な状況等について
- 4) その他

○議長（関根正明） おはようございます。先日のインターハイの開会式に、多くの皆様に御参列いただきましてありがとうございました。少雪1メートル余りの積雪等いろいろな問題がありましたが、全ての種目をつつがなくできまして、成功裏に終了することができました。妙高の力を見せることができたと思います。それでは、ただいまから全員協議会を開会いたします。

1) 議会運営委員会協議結果報告について

○観光商工課長（城戸陽二） それでは、今冬の少雪に伴う、市内の主な状況等につきまして、私のほうからは、観光業、並びに飲食小売業の状況等につきまして報告させていただきます。事前に配付させていただきました全員協議会資料をごらんください。まずスキー場の見込みでございますが、今シーズンにつきましては、雪の降り始めが遅かったことから、妙高エリアの全てのスキー場がオープンできたのが、年明けの1月1日からとなりました。その結果、年末年始の入り込みについては、約7万7000人で、対前年比約27%減という状況でありました。先般、1月の入り込み状況について調査を行いました、全国的な雪不足ということで、他のスキー場から当市へお客様が集まってきたこともあり、1月につきましては、おおむね前年並みの入り込み状況となっております。今後につきましても、前年並みに推移する見通しではありますが、十分な降雪がない場合は、スキー場の営業などに影響が出ることを懸念しているところであります。次に、宿泊施設の状況ですが、妙高ツーリズムマネジメントや宿泊施設への聞き取りでは、年末年始は少雪の影響によりキャンセルが発生し、宿泊者数は、例年の20から30%減であったと聞いております。1月末までの状況としては、キャンセルが多少発生しておりますが、その後、新たな予約が入ったということで、持ち直している状況であるとのことであります。また、年々増加傾向にあります外国人観光客については、多くが、前払い制でのお客様であり、キャンセルは少なかったと聞いておりますが、パウダースノー、ディープスノーを売りにしている当市にとっては、来シーズンの誘客への影響を心配しているところであります。今後の見通しといたしましては、先般終了しましたインターハイスキー大会において、約9000人泊の入り込みがあったところでありますし、また、国で支援している台風19号の復興割などの後押しもあり、2月の土日祝日はほぼ満室の状況となっております。次に、飲食、小売業などの状況ですが、商工会や事業所への聞き取りによりますと、宿泊施設等の入り込みにも左右され、多様な業種で売上げが減少しているとのことであります。特に、ガソリンスタンドについては、除雪車の出動回数の減を初め、融雪装置や暖房器具の利用減などにより、軽油、灯油は例年の60から70%減であると聞いております。今後も、このまま少雪の状態が続きますと、地域内の経済循環や消費の落ち込みなど、地域経済に与える影響は大きくなるものと考えております。最後に、融資の利用相談状況ですが、これまで県をはじめ、各種金融機関等の皆様から、緊急的な金融支援の実施や相談窓口の降雪が行われてきております。市といたしましても、少雪による地域産業への影響や今後の資金需要などを踏まえ、売上げなどが減少した中小企業者の経営支援のため、これまで融資の際に行ってこられた信用保証料の補填に加え、新たに利子助成制度を、このあと予定されております、臨時議会に補正予算として提案しているところであります。以上、観光業並びに、飲食、小売業の状況等につきまして報告させていただきました。

○建設課長（杉本和弘） 続きまして、除雪関係並びに建設業関係の状況等について御報告させていただきます。まず、除雪関係ですが、令和2年1月27日現在で説明させていただきます。除雪費の執行状況は、除雪委託料と、凍結防止剤散布委託料合わせた予算額9億3689万2000円のうち、除雪機械の維持経費であります固定費として、2億1799万9000円。人件費の補償分であります待機補償料のうち、40%の7440万円は、昨年12月20日に支払い済みであります。それらに出動に対する稼働費、4719万9000円を加えた3億3959万8000円が、1月27日現在における執行済額であります。ちなみに、先週の寒波による稼働費につきましては、現在集計中でございますが、概算で約6100万円であり、2月9日、現在の稼働費の総額は約1820万円(後刻訂正あり)となっております。次に、除雪出動回数ですが、新井地域が、ゼロ回から4回で、過去7年間の平均値と比較しますと、マイナス90%。妙高地域が、3回から11回でマイナス74%、妙高高原地域が9回でマイナス68%となっており、各地域で、過去の平均値を大きく下回っております。今後の見通しにつきましては、先週の寒波でまとまった降雪がありましたが、気象庁が1月30日に発表した、向こう1カ月間の天候の見通しによりますと、北陸地方は、今後も寒気の影響が弱く、平年に比べ、降雪量は少ないとのことであります。これらの状況を踏まえた対策といたしまして、待機補償

料の残り精算分、1億1160万円を2月に前倒しして支払うこととしております。次に建設関係について御報告いたします。状況につきまして、市内の建設業者から聞き取りをしたところ、少雪で工事ができる状況ではあるが、手持ち工事が少なく、個人事業者を含めた多くの中小企業は、民間からの除雪や屋根雪下ろしなどによる収入もえられない状況であるとのことでありました。またこのまま少雪の状況が続くと、例年春先に発生する雪害による住宅の修繕などの減少も危惧されておられました。今後の見通しではありますが、昨年の台風19号で被災した市道等の災害復旧工事として、補助事業分の道路災害18件、河川災害2件、単独事業分の2件、合計22件、総額で2億7000万円の災害復旧工事を前倒しして、2月中旬より発注する予定で作業を進めております。また台風19号による災害対応を優先した関係で、未発注となっていました市道等の修繕工事20件、金額にいたしまして約2000万円を2月上旬より発注を順次行っております。農林課が所管します。農業用施設7件、農地3件、林道8件の災害復旧工事につきましても、2月中旬から3月上旬をめどに発注を行うこととしております。なおその下の住まいのリフォーム促進事業につきましては、この後予定されております臨時会で、地域経済の活性化を目的に、補正予算として提案させていただきたいと考えております。以上で、少雪に伴う市内の主な状況等について御報告させていただきました。すいません訂正がございます。1月27日現在の稼働費でございますけれども、除雪の関係です。4719万9000円、これに先週からの寒波で、概算ではございますけれども6100万円の執行があったということで合計1億820万円ということで、訂正をさせていただきたいと思っております。

○議長（関根正明） 総務課長何かございますか。

○総務課長（平出武） 結構です。

○議長（関根正明） ありがとうございます。退席願いたいと思っております。

〔3課長退席〕

4) その他

○議長（関根正明） 4) その他、①議長の各種団体役員等の就任状況について、②3月定例会における常任委員会開催日の内定について説明願います。局長。

○事務局長（築田和志） おはようございます。それではその他の①②ということで御説明させていただきます。まず、①ですが、議長の各種団体役員等の就任状況についてですが、妙高市議会では各種の協議会に加入しております。その役員については、協議会で選任方法は異なるものの、多くは輪番制となっております。主に令和2年度のを予定を含め、一覧表として掲載しました。議長の公務については、毎週金曜日にメールで周知しておりますが、このような協議会に出席する機会もあり承知をしておいていただきたいと思います。次に、3月定例会における常任委員会開催日の内定についてですが、16日（月）は建設厚生委員会、17日（火）は産業経済委員会、18日（水）は総務文教委員会と内定しております。以上です。

○議長（関根正明） ただいまの説明について何かございますか。

○小嶋議員 議長の各種団体の役員等の就任状況ありましたけれども、非常に多くの、例えば基地協だとかですね、いろんなところに、議長さん行っておられるかと思っておりますので、そういったこともですね、何か一覧みたいな形で、教えていただければ、議長の動きがわかっていいのかなど。大変重要な役割を妙高市の議長は担っておりますので、私どももそこら辺の動きを知りたいなと思っておりますのでよろしく願いいたします。

○事務局長（築田和志） はい。それでは今後、わかり次第、皆様方に、議長の内容等お知らせしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○議長（関根正明） 最後に皆さんのお手元に配布してありますが、高田議員より発言の申し出がありますので、これ

について高田議員のほうからご説明いただきたいと思います。

○高田議員 おはようございます。皆さんのところに、一応、設立趣意書ということで、お配りしてありますけども、昨今いろいろ、地方創生だとかいろんな国の方針があります。ただ、現状ではですね、自治体、行政に任せるっていうことはなかなか難しい面もあるかなというふうに、私議員としても実感してるわけでございますけれども、地元の皆さんも、そういうような感覚を持ってるというようなことで、今回、そういう意見を何とかまとめていきたいなということで、こういう団体を立ち上げたということで御報告させていただきます。一応内容はですね、趣意書を読んで、皆さんに御理解をいただきたいと思います。我が国は、2008年をピークに人口減少社会に突入しました。今後、2060年まで平均して年間80万人以上の人口が減少していくことが見込まれています。高齢化も進行し、人口が減少する以上に生産年齢人口が減少することとなります。また、我が国では、今後、高度成長期につくられたさまざまな構造物や建造物が更新時期を一斉に迎えることとなります。国では今後、インフラ整備のうちの更新、維持管理費は急増し、2030年ごろには、現在のほぼ倍の15兆円に達し、その後も同じ水準を維持すると見込んでおります。さらに、人工林、農地などが高齢化、担い手不足により、放棄されつつあります。基幹的農業従事者数は、1985年の542万8000人から、2015年に175万4000人まで減少しました。その結果、イノシシ、鹿などの鳥獣が繁殖し、その管理が課題となっております。人口減少していくことによって、孤独死、買い物難民、地域住民の孤立化や、自治意識の低下を招き、人と人の助け合いのネットワーク、いわゆるコミュニティが損なわれています。このように、我が国では、人的資本、人工資本、自然資本、社会関係資本の四つの資本が劣化していくことにより、地域社会の持続可能性が脅かされています。さて、妙高市の現状はどうでしょうか。国の現状とはほぼ変わらず、若者の地域外流出、少子化、高齢化などにより、人口減少、生産年齢人口の減少が続いており、高齢化により、コミュニティの維持が困難な地域もあります。山林整備不足、農業従事者の高齢化による耕作放棄地の増加、農業従事者の減少など、基幹的農業の将来も危ぶまれております。一方、妙高戸隠連山国立公園の誕生、妙高山、火打山、高妻山の百名山を中心とした、風光明媚な山懐に包まれた妙高市の将来展望は、輝いています。しかし、将来に向かっての課題は多く、その課題を解決するには行政だけでは不可能に近いものがあります。これからは行政任せだけでなく、強い自治意識を持ち、妙高市の将来発展に向けて市民が結集して取り組むことが重要であります。コミュニティの再構築と、安心して住みよい妙高市のまちづくりを、市民目線で行うために、一般社団法人妙高山麓フューチャーセンターを立ち上げました。ということで、まだ現在、本登記はされていませんけども、90%構想が固まりましたので、一応、皆さんに御報告いたしたいということで、きょう趣意書を読ませていただきました。以上です。

○議長（関根正明） 高田議員のほうから、このフューチャー、今の会の理事につきたいということで、申し出があり、事務局並びに、私のほうで精査したところ、市に関して補助金、並びに、指定管理等は、ほぼ行われないうことなんで、あんまり問題ないと思いますが、皆さんの御考えをお聞きしたいと思います。いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（関根正明） 高田議員がこれの理事に就くことを御了承願いたいと思います。よろしく願いいたします。

○高田議員 ありがとうございます。

○議長（関根正明） ほかに皆さん何かございせんか。ないようでしたら、私のほうから一言申し上げます。コロナウイルスが猛威を振るっております。それで、議長より、庁内の対応に対する資料提供を申し入れました。先ほど、提供いただきましたので、レターケース配布したいと思いますので、お帰りの際、お持ちいただければと思っております。よろしく願いいたします。

○議長（関根正明） 以上をもちまして全員協議会を閉会します。

閉会 午前9時27分

妙 高 市 議 会 議 長	
---------------	--